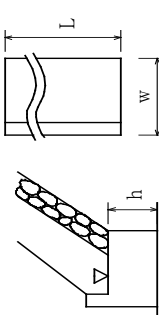
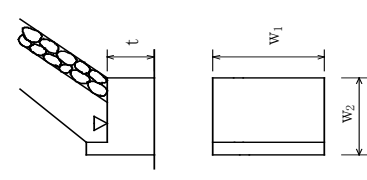
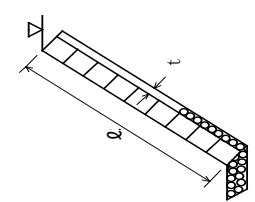
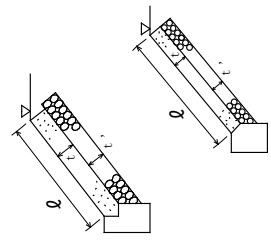
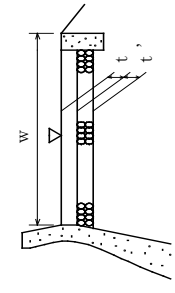
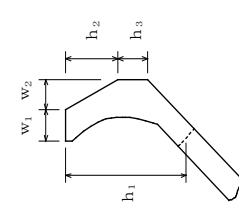


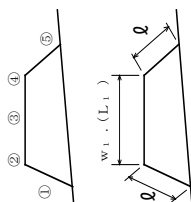
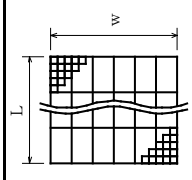
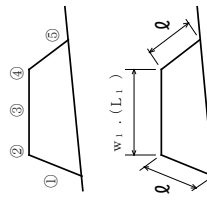
出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	5		場所打コンクリート工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-5-5	
							幅 w	-30				
							高さ h	-30				
							延長 L	-200				
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	6		海岸コンクリートブロック工	基準高 $\nabla$	$\pm 50$	ブロック個数40個につき1ヶ所の割合で測定。基準高、延長は施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-5-6	
							ブロック厚 t	-20				
							ブロック縦幅 $w_1$	-20				
							ブロック横幅 $w_2$	-20				
							延長 L	-200				
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	6		海岸コンクリートブロック工	基準高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 「T S 等光波方式を用いた出来形管理要領 (護岸工編) (案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		7-1-6-4	
							法長 $\phi$	$\phi < 5m$				-100
								$\phi \geq 5m$				$\phi \times (-2\%)$
							厚さ t	-50				
							延長 L	-200				

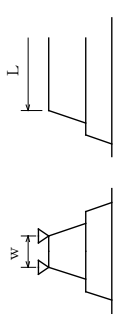
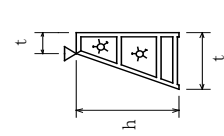
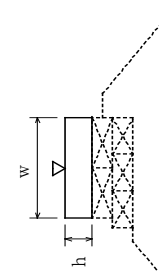
出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	5		コンクリート被覆工	基準高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 「T S」等光波方式を用いた出来形管理要領(護岸工編)(案)Jの規定による測点の管理方法を用いることができる。		7-1-6-5
							法長 $\theta$	$\theta < 3m$			
								$\theta \geq 3m$			
							厚さ $t$	$t < 100$			
								$t \geq 100$			
							裏込材厚 $t'$	-50			
							延長 $L$	-200			
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	2		コンクリート被覆工	基準高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-8-2
							幅 $w$	-50			
							厚さ $t$	-10			
							基礎厚 $t'$	-45			
							延長 $L$	-200			
7	河川海岸編	1	堤防・護岸	3		波返工	基準高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-9-3
							幅 $w_1, w_2$	-30			
							高さ $h < 3m$ $h_1, h_2, h_3$	-50			
							高さ $h \geq 3m$ $h_1, h_2, h_3$	-100			
							延長 $L$	-200			

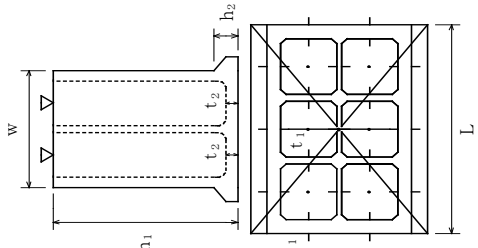
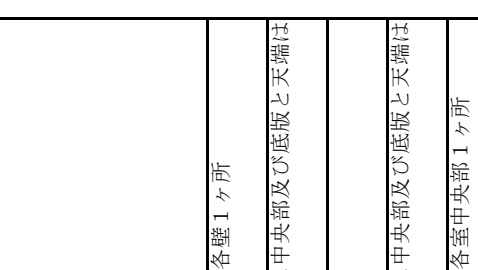

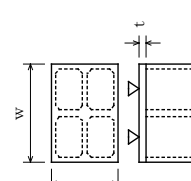
出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工	種	測定項目		規格値		測定基準	測定箇所	摘要
7	河川海岸編	2	突堤基礎工	4		捨石工		基準高▽	本面均し	±50	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。	7-2-4-4		
									表面均し	±100				
									荒均し	±500				
									被覆均し	±300				
									法	±500				
									法	±300				
									法	±300				
									天端幅 $w_1$	-100				
									天端延長 $L_1$	-100				
									天端延長 $L_1$	-200				
7	河川海岸編	2	突堤基礎工	5		吸出し防止工		基準高▽	幅	-300	幅は施工延長40m (測点間隔25mの場合又は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。	7-2-4-5		
									延長	-500				
									法	±500				
									天端幅 $w_1$	-100				
									天端延長 $L_1$	-200				
									法	±300				
									法	±300				
									天端幅 $w_1$	-100				
									天端延長 $L_1$	-200				
									天端延長 $L_1$	-200				
7	河川海岸編	2	突堤本体工	5		捨石工		基準高▽	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。	7-2-5-2		
									異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300				
									法	±500				
									天端幅 $w_1$	-100				
									天端延長 $L_1$	-200				
									法	±300				
									法	±300				
									天端幅 $w_1$	-100				
									天端延長 $L_1$	-200				
									天端延長 $L_1$	-200				

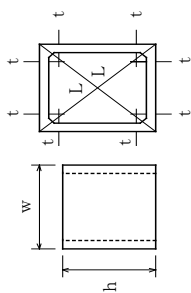
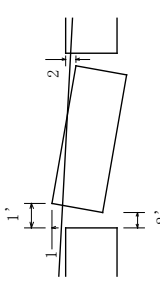
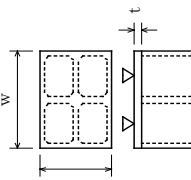
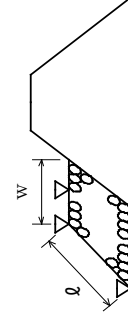
出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	5		海岸コンクリートブロック工	基準高▽	(層積)ブロック規格26t未満	±300	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。延長は、センターラインで行う。		7-2-5-5
								(層積)ブロック規格26t以上	±500			
								(乱積)	±ブロックの高さの1/2			
							天端幅 w	±ブロックの高さの1/2				
							天端延長 L	±ブロックの高さの1/2				
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	9		石積工	基準高▽	±50	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-5-9	
							厚さ t	-50				
							高さ h	-50				
							延長 L	-100				
							延	-200	1 施工箇所毎			
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	10		場所打コンクリート工	基準高▽	±30	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-5-10	
							幅 w	-30				
							高さ h	-30				
							延長 L	-200				

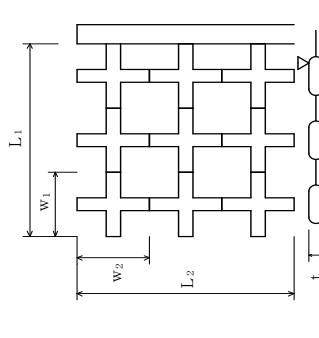
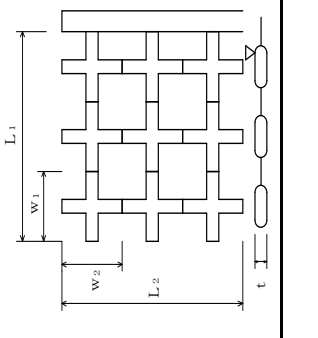
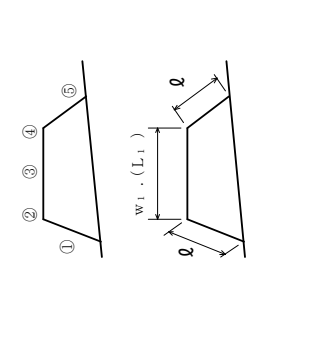
出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要							
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	バラストの基準高▽	±100	各室中央部1ヶ所		7-2-5-11							
							コンクリート	±50										
							壁厚 $t_1$	±10	底版完成時、各壁1ヶ所		7-2-5-11							
							幅 $w$	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は両端									
							高さ $h_1$	+30, -10	完成時、四隅									
							長さ $L$	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は両端									
							底版厚さ $t_2$	+30, -10	底版完成時、各室中央部1ヶ所									
							フーチング高さ $h_2$	+30, -10	底版完成時、四隅									
							法線に対する出入 1、2	ケーソン重量2000 t未滿 ±100	据付完了後、両端2ヶ所									
							据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量2000 t以上 ±150										
							7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	陸上	±30	1室につき1ヶ所(中心)		7-2-5-11
														水	±50			
厚さ $t$	±30																	
幅 $w$	±30																	
長さ $L$	±30																	
基準高▽	ケーソン重量2000 t未滿 100以下																	
据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量2000 t以上 200以下																	

出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
7	河川海岸編	2	5	12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	壁厚 t	±10	型枠取外し後全数		7-2-5-12
							幅 w	+20, -10			
							高さ h	+20, -10			
							長さ L	+20, -10			
7	河川海岸編	2	5	12	2	セルラー工 (セルラー工据付)	法線に対する出入 1、2	±50	据付後ブロック1個に2ヶ所(各段毎)		7-2-5-12
							隣接ブロックとの間隔1'、2'	50以下			
							基準高▽				
							陸上	±30			
7	河川海岸編	2	5	12	3	セルラー工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリート ブロック	水中	±50	1室につき1ヶ所(中心)		7-2-5-12
							厚さ t	±30			
							幅 w	±30			
							長さ L	±30			
7	河川海岸編	2	6	2		捨石工	異形ブロック据付面(乱積)の高さ	±500	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		7-2-6-2
							異形ブロック据付面(乱積)以外の高さ	±300			
							基準高▽				
							法長 l	-100			
7	河川海岸編	2	6	2		捨石工	天端幅 w	-100	幅は施工延長40m(測点間隔25mの場合50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		
							天端延長 L	-200			

出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工 種	測定項目		規格値	測定基準	測定箇所	摘要									
7	河川海岸編	突堤・人工岬	6	根固め工	3	根固めブロック工	基準高▽	層積	±300	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-6-3									
								乱積	± t / 2												
							幅	厚	-20	幅、厚さは40個につき1ヶ所測定。											
								層積	-20												
							延長	層積	- t / 2	1 施工箇所毎											
								乱積	-200												
							基準高▽	層積	- t / 2	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。											
								乱積	± t / 2												
							7	河川海岸編	突堤・人工岬	7			消波工	3	消波ブロック工	基準高▽	層積	±300	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-7-3
																	乱積	± t / 2			
幅	厚	-20	幅、厚さは40個につき1ヶ所測定。																		
	層積	-20																			
延長	層積	-200	施工延長10mにつき、1 測点当たり5点以上測定。																		
	乱積	±500																			
基準高▽	層積	±500	幅は施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。																		
	乱積	±300																			
法	長さ ℓ	-100																			
	天端幅 w <sub>1</sub>	-100																			
天端延長 L <sub>1</sub>	-200																				
7	河川海岸編	3	海城堤基礎工	3	捨石工	捨石工	基準高▽	本均し	±50	施工延長10mにつき、1 測点当たり5点以上測定。		7-3-3-3									
								荒均し	±500												
							被覆均し	異形ブロック据付面(乱積)の高さ	±300												
								異形ブロック据付面(乱積)の高さ	±500												
							法	異形ブロック据付面(乱積)の高さ	±300												
								異形ブロック据付面(乱積)の高さ	±300												
							長さ ℓ	異形ブロック据付面(乱積)の高さ	-100												
								異形ブロック据付面(乱積)の高さ	-100												
							天端幅 w <sub>1</sub>	異形ブロック据付面(乱積)の高さ	-100												
								異形ブロック据付面(乱積)の高さ	-100												
天端延長 L <sub>1</sub>	-200																				